

第1学年 国語科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	レポート、作品 発表 スモールステップテスト 定期考査	レポート、作品 発表 スモールステップテスト 定期考査	ノート、授業観察 レポート、作品 発表 振り返りシート スモールステップテスト、定期考査

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	朝のリレー	1 詩を通読する。 2 詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。 3 詩の特徴を生かして音読する。
	野原はうたう	1 国語で何を学ぶのかを考える。 2 「野原はうたう」の二つの詩を通読する。 3 速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを変えて音読する。 4 学習を振り返る。
	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	1 音読・発表のしかたを理解する。 2 ノートの書き方、工夫のしかたを理解する。 3 辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。 4 「言葉の手帳」を作る。 5 学習を振り返る。
5	はじまりの風	1 作品を通読する。 2 作品の全体像を捉える。 3 心情の変化を整理する。 4 読み深めた感想を交流する。 5 学習を振り返る。
	〔聞く〕 情報を的確に聞き取る	1 情報を的確に聞き取る必要がある場面を挙げる。 2 ①の連絡を聞き、メモを取る。 3 効果的なメモの取り方を確かめる。 4 ②の連絡を聞き、メモを取る。 5 学習を振り返る。
	言葉 音声の仕組みや働き	1 学習の目的を理解する。 2 母音と子音について理解する。 3 音の高さ・強さについて理解する。 4 学習を振り返る。
	話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	1 スピーチの材料を集める。 2 話の構成を考え、練習する。 3 スピーチの会を開く。 4 学習を振り返る。
	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	1 導入部分を読み、漢字の組み立てに興味をもつ。 2 偏旁冠脚について理解する。 3 部首の種類について理解する。 4 漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。 5 P40「漢字に親しもう1」の問題に取り組む。
6	ダイコンは大きな根？	1 本文を通読する。 2 文章の中心的な部分を捉える。 3 段落の役割について考える。 4 考えたことを発表し合う。 5 学習を振り返る。
	ちょっと立ち止まって	1 本文を通読する。 2 文章の構成に着目し、要旨を捉える。 3 文章の構成に着目し、その効果を考える。 4 考えたことを伝え合う。 5 学習を振り返る。
	情報整理のレッスン 比較・分類	1 学習の目的を理解する。 2 情報を比較・分類をする方法を確かめる。 3 問題に取り組む。 4 学習を振り返る。
	情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	1 情報を集め、整理する。 2 構成を考える。 3 文章をまとめる。 4 交流する。 5 学習を振り返る。
	言葉2 指示する語句と接続する語句	1 導入の課題に取り組み、指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 2 指示する語句について理解する。 3 接続する語句について理解する。 4 学習したことを日常につなぐ。
	空の詩三編	1 三つの詩を音読する。 2 詩について感じた事を交流する。 3 詩の情景や表現の効果について話し合う。 4 最も印象に残った詩について発表する。 5 学習を振り返る。 6 空の詩を作る。
	言葉3 様々な表現技法	1 導入の例を読み、表現による印象の違いを挙げる。 2 「比喩（たとえ）」を読み、比喩の種類による印象の違いを考える。 3. 「反復」「倒置」「体言止め」「省略」「対句」を読み、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 4 学習を振り返る。

7	比喩で広がる言葉の世界	1 本文を通読する。 2 段落の役割を押さえて読み、内容を捉える。 3 言葉について考える。 4 学習を振り返る。
	文法への扉1 文法1 言葉の単位	1 導入や教材文を読み、言葉のまとまりについて考える。 2 練習問題について取り組む。 3 学習を振り返る。
	言葉 1 指示する語句と接続する語句	1 導入の課題に取り組み、指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 2 指示する語句について理解する。 3 接続する語句について理解する。 4 学習したことを日常につなぐ。
	語彙を豊かに 心情を表す言葉	1 学習の目的を理解する。 2 印象に残った出来事について、そのときの気持ちをひと言で表す。 3 気持ちを表す言葉を集める。 4 気持ちにぴったりの言葉を選ぶ。 5 学習を振り返る。
	情報収集の達人になろう 著作権について四郎	1 調べるテーマを決める。 2 図書館やウェブサイトで情報を集める。 3 情報を読み取る。 4 行動宣言をまとめる。 5 著作権について知る。 6 学習を振り返る
	読書を楽しむ	1 教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 2 「ポップ作り」「読感想文」を夏休みに行き、提出する。
	本の中の中学生 「あと少し、もう少し」「西の魔女が死んだ」「ブラインドの向こうに見える光」 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い	1 「本の中の中学生」の三編の作品を読む。 2 学校図書館などを利用して、「本の中の中学生」というテーマで一冊選び、推薦文を書く。
9	大人になれなかった弟たちに……	1 作品を通読する。 2 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 3 題名のもつ意味について考える。 4 表記に込められた、作者の意図を考える。 5 思いを伝える朗読会をする。 6 学習を振り返る
	星の花が降るころに	1 作品を通読する。 2 「私」を中心に作品の内容を押さえる。 3 場面や描写を結び付けて読む。 4 印象に残った場面や描写を語り合う。 5 学習を振り返る。
	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1 聞き方や質問のしかたを学ぶ。 2 「夏休みのいちばんの思い出」をテーマに、対話の練習をする。 3 学習を振り返る。
	項目を立てて書こう 案内文を書く	1 案内文の書き方を確かめる。 2 案内する事柄と相手を決め、情報を整理する。 3 案内文を作成する。 4 学習を振り返る。
	〔推敲〕読み手の立場に立つ	1 読み手の立場に立って、案内文を推敲する。 2 書きかえた案内文について、伝えようとする内容が正確に、わかりやすく書き表されているか、友達と話し合う。 3 学習を振り返る。
10	言葉 4 方言と共通語	1 導入の課題に取り組み、地域による言葉の違いについて関心をもつ。 2 教材文を読み、方言と共通語の違いを理解する。 3 「生活に生かす」を読み、方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。
	漢字 2 漢字の音訓	1 導入部分を読み、漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。 2 「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 3 漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	1 本文を通読する。 2 文章の構成と内容を捉える。 3 論の展開に着目し、その効果を考える。 4 結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。 5 学習を振り返る。
	思考のレッスン1 意見と根拠	1 文章を読み、適切な根拠について考える。 2 意見と根拠の結びつきを考える。 3 学習を振り返る。
	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	1 課題を決め、調査を行う。 2 調査結果を整理し、構成を考える。 3 図表などを引用してレポートを作成する。 4 レポートを読み、評価し合う。 5 学習を振り返る。
	漢字に親しもう 3	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉 2 言葉の関係を考えよう 文法 2 文の組み立て	1 教材文を読み、言葉の関係について考える。 2 「文法 2 文の組み立て」を読み、「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」を理解する。 3 学習を振り返る。

1 1	【話し合い（進行）】 進め方について考えよう	1 リード文で教材のねらいを確認し、学習の見通しを持つ。 2 話し合う時に効果的な工夫について理解する。 3 学習を振り返る。
	話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	1 話し合いの話題を決め、目的を明確にする。 2 自分の考えをまとめる。 3 司会と書記を決め、グループで話し合う。 4 話し合いの結果を報告する。 5 学習を振り返る。
	聴きひたる 大阿蘇	1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 2 詩について感じた事や考えたことを交流する。
	古典の世界 音読を楽しむ いろは歌	1 「いろは歌」を音読する。 2 「古典の世界」を読み、3年間の古典学習について見通しをもつ。
	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	1 作品を通読する。 2 古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。 3 描かれている古典の世界を想像する。 4 学習を振り返る。
	今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう	1 漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。 2 本文を読み、故事成語について理解する。 3 故事成語を使って、体験文を書く。 4 学習を振り返る
1 2	「不便」の価値を見つめ直す 根拠を明確にして、意見をまとめよう	1 本文を通読し、内容を捉える。 2 筆者の考えを要約する。 3 根拠を明確にして、意見をまとめる。 4 学習を振り返る。
	思考のレッスン2 原因と結果	1 例題や問題1から、原因と結果を抜き出し、どのようにつながっているかを整理する。 2 例題や問題2から、原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ、パターン別に整理する。 3 学習を振り返る。
	漢字に親しもう4	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉2 言葉の関係を考えよう	1 導入や教材文を読み、言葉の関係について考える。 2 P242-246 文法2「文の組み立て」を読み、「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」を理解する。
	研究の現場によこそ 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実 読書案内 本の世界を広げよう	1 「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」の文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 2 文章を読んで考えたことをグループで発表し合う。
1	少年の日の思い出 別の人物の視点から文章を書き換えよう	1 作品を通読する。 2 作品の展開を捉える。 3 「僕」の心情の変化をまとめる。 4 別の人物の視点から文章を書き換える。 5 学習を振り返る。
	漢字に親しもう5	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉3 単語の性質を見つけよう	1 例題に取り組み、単語の性質について考える。 2 P247-250 文法3「単語の分類」を読み、「自立語と付属語」、「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。
	二十歳になった日	1 作品を通読する。 2 随筆の内容を捉える。 3 構成や表現の効果について考える。 4 自分が考える表現の効果について語り合う。 5 学習を振り返る。
2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	1 随筆の題材を選ぶ。 2 具体的な材料を書き出す。 3 構成を考える。 4 随筆を書く。 5 学習を振り返る。
	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。 3 P229「漢字に親しもう6」の問題に取り組む。
	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	1 観点を決め、一年間の学習を振り返る。 2 集めた情報を整理し、発表内容を決める。 3 話の構成を考え、フリップを作る。 4 グループ内で発表する。 5 学習を振り返る
3	ぼくが ここに	1 詩を読み、印象に残った表現を発表する。 2 表現の意味や、表現技法について考える。 3 作者の思いについて語り合う。 4 学習を振り返る。
	国語の力試し	1 問題に取り組む。 2 発展問題に取り組む。 3 学習を振り返る。
年間	書写	1 姿勢と用具の使い方の確認。 2 楷書で書く。基本点画を学ぶ。 3 楷書とひらがなを調和させて書く。 3 行書の特徴を理解して書く。 4 書き初めを書く。

第1学年 社会科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期テスト 小テスト	定期テスト レポート 発表等の活動の様子	授業中の様子 提出物の内容 ワークシート

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	持続可能な社会の実現に向けて（地理） 第1部 世界と日本の地域構成	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・綿国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。
5	第2部世界の様々な地域	・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。また世界の主な宗教の分布についても理解する。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。
6	歴史を学ぶにあたって 1編私たちと歴史	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解するとともに、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりする。 ・時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、小学校での学習をふまえて歴史上の人物や文化財、できごとなどから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現する。
7	2編古代までの日本と世界	・古代までの日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。 ・古代までの日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする。
8		
9	2編古代までの日本と世界	
10	第2章世界の諸地域	・地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・世界の各州に暮らす人々の生活を基に、その州の地域的特色を大観し理解する。 ・世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
11	第2章世界の諸地域	
12	第2章世界の諸地域	
1	3編中世の日本と世界	・中世の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。 ・中世の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする。
2	3編中世の日本と世界	
3	3編中世の日本と世界	

第1学年 数学科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査 SST（スモールステップテスト）	定期考査 SST（スモールステップテスト）	定期考査 SST（スモールステップテスト） 課題（誤答分析シートなど）

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	算数から数学へ	・素因数分解の意味を知る。 ・素因数分解の方法を考え、どんな順序で行っても同じ結果になることを知る。 ・自然数を素因数分解した式から、もとの数の約数や、もとの数がどんな数の倍数であるかを求める。
5	数の世界をひろげよう（正負の数）	・反対の性質をもつ量や基準とのちがいを、正負の数を用いて表す。 ・正負の数を数直線上に表す。 ・数直線を使って正負の数の大小を考え、不等号を使って表す。 ・絶対値をもとにして正負の数の大小を考え、不等号を使って表す。
6		・同符号、異符号の数の加法について、加えた2つの数と和の符号や絶対値に着目して、計算方法を考える。 ・正負の数の加法の計算をする。 ・加法の交換法則、結合法則を利用して、いくつかの数の加法を計算する。 ・減法を加法の逆算とみて、正負の数で、2つの数のひき算を考える。 ・数直線を使って、正負の数の減法の計算方法を考える。 ・正負の数の減法の計算をする。 ・正負の数の加法と減法の混じった式を、項の和とみる。 ・正負の数の加法と減法の混じった式を、項を書き並べた式に表す。 ・正負の数の加法と減法の混じった式の計算をする。
		・東西への移動などをもとにして、正負の数で、2つの数のかけ算を考える。 ・正負の数の乗法の計算をする。 ・乗法の交換法則、結合法則を利用して、いくつかの数の乗法を計算する。 ・正負の数の累乗の計算をする。 ・除法を乗法の逆算とみて、正負の数で、2つの数のわり算を考える。 ・正負の数の除法の計算をする。 ・除法を乗法になおして計算する。 ・正負の数の四則の混じった式を、計算順序にしたがって計算する。 ・分配法則を利用して、正負の数の計算をする ・自然数どうしの加法、減法、乗法、除法の表を完成させるためには、どんな数が必要であるかを考える。 ・数の範囲とその範囲でいつでもできる四則について調べる
		・身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決する。
7	数学のことばを身につけよう（文字と式）	・文字を用いることの必要性和意味を知る。 ・具体的な数量を、文字を使った式で表す。 ・具体的な数量を表した文字が、どんな数の代わりとして使われているかを考える。 ・具体的な数量を、積の表し方にしたがって、文字を使った式で表す。 ・文字式での積の表し方にしたがって、式を表す。 ・文字式での累乗の表し方にしたがって、式を表す。 ・文字式での商の表し方にしたがって、式を表す。 ・単位の異なる数量どうしの和や差を、単位をそろえた式に表す。 ・割合に関する数量を、文字を使った式で表す。 ・速さに関する数量を、文字を使った式で表す。 ・文字を使った式が表す具体的な数量を、読み取る。 ・πの意味を知る。 ・円周の長さや円の面積を、文字を使った式で表す。 ・文字を使った式が表す具体的な数量を、読み取る。 ・文字に数を代入することや式の値の意味を知る。 ・式の中の文字に数を代入して、式の値を求める。
9		・項と係数の意味を知る。 ・文字の部分が同じ項を1つの項にまとめて簡単にする。 ・1次式の加法や減法の計算をする。 ・1次式と数の乗法の計算をする。 ・1次式と数の除法を乗法になおして計算する。 ・分配法則を使って、1次式のいろいろな計算をする。
		・いろいろな整数を、文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりする。 ・いろいろな整数を、文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりする。 ・等式、不等式の意味を知る。 ・数量の間の関係を等式や不等式で表す。 ・等式や不等式が、どんな数量の関係を表しているかを考える。
10	未知の数の求め方を考えよう（方程式）	・方程式とその解の意味を知る。 ・方程式の中の文字に値を代入して、解であるかどうかを確かめる。 ・方程式を解く方法を、てんびんの操作と結び付けて考える。 ・等式の性質を使って方程式を解く。 ・等式の性質を使って方程式を解く過程を振り返って、移項の考えを見いだす。 ・移項の考えを使って方程式を解く。 ・移項の考えを使って方程式を解く手順を確認する。 ・かっこをふくむ方程式を解く。 ・係数に小数をふくむ方程式を解く。 ・係数に分数をふくむ方程式を解く。 ・1次方程式を解く手順を確認する
		・方程式を利用して問題を解決するときの手順を確認する。 ・個数と代金に関する問題を、方程式を利用して解決する。 ・速さ・時間・道のりに関する問題を、方程式を利用して解決する。 ・速さに関する問題で、求めた解が問題に適しているかどうかを考える。 ・方程式を利用して問題を解決するときの手順をまとめる。 ・過不足に関する問題を、方程式を利用して解決する。 ・比の値が等しいことを表す式を変形して、比例式の性質を見いだす。

		・比例式の性質を利用して、文字の値を求めたり、具体的な問題を解決したりする。
1 1	数量の関係を調べて、問題を解決しよう（比例と反比例）	・水槽が満水になるまでの時間を予想するために、水槽の形や水槽に入れる水の量の変化など、どんなことが分かればよいかを考える。 ・関数の意味を知る。 ・変域の意味と表し方を知る。 ・変域を不等号を使って表す。 ・2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを調べる。 ・関数の関係を「～は…の関数である」といういい方で表す。 ・シュレッダーで裁断された紙の量と関数の関係にある数量を考える。 ・比例の意味を知る。 ・yをxの式で表して、yがxに比例するかどうかを調べる。 ・反比例の意味を知る。 ・yをxの式で表して、yがxに反比例するかどうかを調べる。 ・算数で学習した比例の性質やグラフの特徴を振り返る。 ・xの変域や比例定数のとりうる範囲を負の数にひろげても、比例の性質が成り立つかどうかを調べる。 ・xの変域や比例定数が負の数の場合をふくめた比例の式を考える。 ・変域を負の数にひろげたときの比例のグラフをかくために、負の数も範囲に入れた点の位置の表し方を考える。 ・点の座標を求めたり、座標を平面上の点で表したりする。 ・変域を負の数にひろげたときの比例のグラフがどのようなようになるかを、点を細かくとって調べる。 ・比例定数が負の数の場合の比例のグラフをかいいて、正の数の場合との共通点やちがいを調べる。 ・比例について、xの値が増加するときのyの値の変化の様子を、比例定数が正の数の場合と負の数の場合で、表やグラフを用いて調べる。 ・比例のグラフの特徴をもとに、グラフをかく。 ・比例の性質を調べる方法を振り返る。 ・比例の表やグラフから式を求める方法を考える。 ・比例の表、式、グラフのどこに比例定数があらわれるかをまとめる。 ・比例のグラフから式を求める。 ・算数で学習した反比例の性質やグラフの特徴を振り返る。 ・xの変域や比例定数のとりうる範囲を負の数にひろげても、反比例の性質が成り立つかどうかを調べる。 ・xの変域や比例定数が負の数の場合をふくめた反比例の式を考える。 ・変域を負の数にひろげたときの反比例のグラフがどのようなようになるかを、点を細かくとって調べる。 ・比例定数が負の数の場合の反比例のグラフをかいいて、正の数の場合との共通点やちがいを調べる。また、xの値を大きくしたり0に近づけたりするとグラフはどうなるかを調べる。 ・反比例のグラフをかく。 ・反比例について、xの値が増加したときのyの値の変化の様子を、比例定数が正の数の場合と負の数の場合で、表やグラフを用いて調べる。 ・反比例の性質を調べる方法を振り返る。 ・反比例の表やグラフから式を求める方法を考える。 ・反比例の表、式、グラフのどこに比例定数があらわれるかをまとめる。 ・反比例のグラフから式を求める。 ・行列の待ち時間を予想するために、どんなことがわかればよいかを考える。 ・1人がポップコーンを買うのにかかる時間を一定と考えて、並んでいる人数から待ち時間を予想する。 ・身のまわりの問題を、比例や反比例を用いて解決する。 ・A=BCの式で、A、B、Cのうち、1つの変数の値を決めたとき、他の2つの変数の関係がどうなるかを調べる。 ・身のまわりの問題を、比例のグラフを利用して解決する。 ・比例のグラフから、具体的な事象を読み取る。
1 2	平面図形の見方を広げよう（平面図形）	・正六角形の模様の中の2つの図形の関係を移動の見方で観察し、平行移動について知る。 ・平行移動の性質をもとにして、ある図形を平行移動させた図形をかく。 ・正六角形の模様の中の2つの図形の関係を移動の見方で観察し、回転移動について知る。 ・回転移動の性質をもとにして、ある図形を回転移動させた図形をかく。 ・点対称な図形を回転移動の見方で捉える。 ・正六角形の模様の中の2つの図形の関係を移動の見方で観察し、対称移動について知る。 ・対称移動の性質をもとにして、ある図形を対称移動させた図形をかく。 ・線対称な図形を対称移動の見方で捉える。 ・正六角形の模様の中の2つの図形の関係を移動の見方で観察し、その移動の方法を平行移動、回転移動、対称移動を用いて説明する。 ・図形の合同の意味を確認する。 ・定規とコンパスを使って正六角形をかき、それがかけるわけを説明する。 ・作図における定規とコンパスの役割と使い方を知り、簡単な作図をする。 ・基本的な作図の方法を考えるために、交わる2つの円の性質について調べる。 ・垂線を作図する方法を、線対称な図形の性質をもとにして考える。 ・点と直線との距離、平行な2直線の距離の意味を知る。 ・線分の垂直二等分線を作図する方法を、線対称な図形の性質をもとにして考える。 ・2点から等距離にある点は、線分の垂直二等分線にあることを知る。 ・角の二等分線を作図する方法を、線対称な図形の性質をもとにして考える。 ・角の2辺までの距離が等しい点は、その角の二等分線上にあることを知る。 ・直線上の点を通り、その直線に垂直な直線を作図する方法を考える。 ・円の接線、接点の意味と円の接線の性質を知る。 ・基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図する。 ・基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え、式や図を使って説明する。 ・複数の作図の方法を比べて、同じところやちがうところを話し合う。
1		・ケーキを円とみなして、その円を3等分する方法を考え、その方法で円を3等分できる理由を説明する。 ・おうぎ形の中心角が2倍、3倍になると、弧の長さや面積がそれぞれ何倍になるかを調べる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を、中心角に比例することをもとにして考える。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求める。

2	立体の見方を広げよう（空間図形）	・身のまわりにあるものから立体を見だし、それらの立体をいろいろな見方で分類する。 ・多面体の意味を知る。 ・角錐、円錐の意味を知る。 ・角柱と角錐、円柱と円錐、角錐と円錐の共通点やちがいを考える。 ・巻末の紙を使って正多面体の模型を作り、それらの共通点やちがいを考える。 ・正多面体の意味を知る。 ・正多面体の面の数、辺の数、頂点の数などをもとにして、正多面体の性質を調べる。
		・空間内にある直線と平面について、1つの直線上にない3点によって、平面が1つに決まるかどうかを考える。 ・空間内にある平面と平面の位置関係を分類し、交線の意味を知る。 ・空間内にある直線と平面の位置関係を分類する。 ・空間内にある直線と直線の位置関係を分類し、ねじれの位置にあることの意味を知る。 ・空間内にある直線と平面の垂直について考える。 ・空間内にある平面と平面のつくる角について考える。 ・点と平面との距離、平面と平面との距離の意味を知る。
		・面をその面と垂直な方向に動かしてできる立体について考える。 ・長方形や直角三角形を空間で回転させてできる立体について考える。 ・母線、回転体の意味を知る。 ・円柱と正三角柱の側面にかけたひものようすを展開図に表し、どちらが短いかを考える。 ・角柱や円柱の展開図で、側面になる長方形の横の長さは、底面の多角形や円の周の長さに等しいことを確かめ、それらの長さを求める。 ・正四角錐の展開図をかくて、その特徴を調べる。 ・底面が正多角形の角錐で、底面の辺の数を増やしていくと、その展開図はどうなるかを考える。 ・円錐の展開図で、側面になるおうぎ形の弧の長さは底面の円周に等しいことを確かめ、その長さを求める。
		・2つのテントを三角柱と三角錐とみなして、体積の求め方を考える。 ・算数で学習した角柱や円柱の体積の求め方を、底面の多角形や円をその面と垂直な方向に高さの分だけ動かした立体とみることと関連づけて捉え直す。 ・角柱や円柱の体積を求める。 ・巻末の紙で作った模型を用いたり実験を行ったりして、角錐や円錐の体積を、底面積が等しく、高さが等しい角柱や円柱の体積と比べ、それらの求め方を考える。 ・角錐や円錐の体積を求める。 ・階段の形をした立体の表面積の求め方を考える。 ・円柱の表面積の求め方を、展開図をもとにして考える。 ・角柱や円柱の表面積を求める。 ・円錐の表面積の求め方を、展開図をもとにして考える。 ・円錐の表面積を求める。 ・実験を行うなどして、球の体積や表面積を、その球がちょうど入る円柱の体積や表面積と比べ、その求め方を考える。 ・球の体積と表面積を求める。
3	データを活用して判断しよう（データの分析と活用）	・現在のチームの 1500m 走の記録が、優勝時のチームの記録と比べて遅くなったかどうかを調べる方法について話し合う。 ・現在のチームと優勝時のチームの 1500m 走の記録を度数分布表やヒストグラム、度数折れ線に表し、それぞれの分布の特徴を読み取る。 ・階級の幅の異なる複数のヒストグラムを比較し、検討する。 ・現在のチームと優勝時のチームの 1500m 走の記録の相対度数を求め、折れ線に表して、2つの分布を比較する。 ・現在のチームと優勝時のチームで、1500m 走を 6 分未満で走った生徒の割合を、累積相対度数を用いて比較する。 ・現在のチームと優勝時のチームの 1500m 走の記録の代表値や範囲を求め、それらを用いて、現在のチームの記録が優勝時のチームと比べて遅くなったといえるかどうかを説明する。
		・運動時間のデータを分析し、データの分布の傾向を適切に読み取れるようにヒストグラムに表し、その傾向を説明する。 ・データを正しく読み取ることができているかを、批判的に考察し判断する。
		・ペットボトルキャップを投げる実験を多数回行った結果を表やグラフに整理し、表向きになる相対度数がどのように変化するかを調べる。 ・新入生向けに各サイズの上ばきを何足仕入れておけばよいかを、過去 3 年分のデータをもとに考え、説明する。
	総合演習／数学の自由研究	・総合演習 ・数学の自由研究

第 1 学年 理科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	・ 定期考査 ・ スモールステップテスト ・ 観察・実験ワークシート ・ 実験操作 ・ 提出物	・ 定期考査 ・ スモールステップテスト ・ 観察・実験ワークシート ・ 自由課題研究 ・ 話し合い、発表	・ 定期考査 ・ スモールステップテスト ・ ノート、提出物、自由課題研究 ・ 振り返り ・ 話し合い、発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）		学習活動
4	単元 1 いろいろな生物とその共通点	第 1 章 生物の観察と分類のしかた	・ 生物を観察するとき、どのような特徴に注目して、どのような方法で観察すればよいか考える。 ・ 観察 1 身近な生物の観察 ・ 生物を分類するとき、どのような特徴に注目して分類することができるか考える。 ・ 実習 1 さまざまな生物の分類
5		第 2 章 植物の分類	・ 花のつくりには、どのような共通点があるか調べる。 ・ 観察 2 植物の花のつくり ・ 果実をつくらない植物の花は、果実をつくる花とどのような共通点や相違点があるか調べる。 ・ 植物を葉脈や根で分類するには、どのような特徴に注目するとよいか調べる。 ・ 観察 3 植物の葉や根の観察 ・ 種子をつくらない植物のからだのつくりとふえ方には、どのような特徴があるか調べる。 ・ 植物の特徴を図や表にまとめて植物を分類する。
6		第 3 章 動物の分類	・ 動物を分類するとき、からだのつくりのどこに注目するとよいか考える。 ・ 観察 4 動物のからだのつくり ・ 脊椎動物は、どのようなグループに分類できるか考える。 ・ 無脊椎動物の分類では、からだのつくりのどこに注目し、どのように分類できるか考える。 ・ 動物を適切に分類するための表を作成する。
7	単元 2 身のまわりの物質	第 1 章 身のまわりの物質とその性質	・ 物体が何という物質でできているかを見分けるには、どのような方法があるか考える。 ・ 金属と非金属との性質のちがいを調べる。 ・ 実験 1 金属と非金属のちがいを調べる。 ・ さまざまな金属は、質量で区別できるか調べる。 ・ 実験 2 密度による金属の区別 ・ 見分けにくい粉末状の物質の種類を知るには、どのようにしたらよいか考える。 ・ 実験 3 白い粉末の区別
9		第 2 章 気体の性質	・ 身のまわりの気体にはどのような性質があるか調べる。 ・ 実験 4 二酸化炭素と酸素の性質 ・ 気体の性質によって、気体の集め方はどのように変えたらよいか考える。
10		第 3 章 水溶液の性質	・ 物質が水にとけるとは、どのようなことになるか考える。 ・ 水にとけている溶質をとり出すため、水を蒸発させる以外にどのような方法があるか調べる。 ・ 実験 5 水にとけた物質のとり出し
11		第 4 章 物質の姿と状態変化	・ 身のまわりの物質も水のように姿を変えるか考える。 ・ 物質が状態変化するとき、体積や質量はどうなるか調べる。 ・ 実験 6 ロウの状態変化と体積・質量の変化 ・ 液体どうしが混じり合った混合物を分けるには、どのようにすればよいか調べる。 ・ 実験 7 混合物の分離
12	単元 3 身のまわりの現象	第 1 章 光の世界	・ 物体を見ることができるとき、光はどのように目に届いているか考える。 ・ 光が鏡などの物体で反射するとき、光はどのように進むか調べる。 ・ 実験 1 反射する光の道筋 ・ 光が透明な物体を通りぬけると、光はどのように進むか調べる。 ・ 実験 2 直方体のガラスを通りぬける光の道筋 ・ 凸レンズによる像のでき方には、どのような決まりがあるか調べる。 ・ 実験 3 凸レンズによる像のでき方
		第 2 章 音の世界	・ 振動している物体から出ている音は、どのように伝わるか考える。 ・ 音の大きさや高さと音源の振動には、どのような関係があるか調べる。 ・ 実験 4 弦の振動による音の大きさと高さ
		第 3 章 力の世界	・ 力は、どのようなはたらきをするか考える。 ・ ばねを引く力とばねののびには、どのような関係があるか調べる。 ・ 実験 5 力の大きさとばねののびの関係 ・ 物体にはたらく力は、どのように表すことができるか考える。 ・ 2 つの力が 1 つの物体にはたらくているのに物体が動かないとき、2 つの力にはどのような関係があるか調べる。 ・ 実験 6 1 つの物体にはたらく 2 つの力

月	単元名（題材名）		学習活動
1	単元4 大地の変化	第1章 火をふく大地	・マグマの性質のちがいは、火山の噴火のしかたや火山の形とどのように関係しているか考える。 ・火山灰は、どのような物でできているか調べる。 ・観察1 火山灰をつくる物 ・火成岩はどのような特徴をもっているか調べる。 ・観察2 火成岩の観察 ・火山は私たちの生活に、どのような影響をあたえているか考える。 ・火山とともにくらすために、大切なことは何か考える。
2		第2章 動き続ける大地	・震源で発生したゆれが、どのようにして伝わるか調べる。 ・実習1 地震の波の伝わり方 ・地震は、どのようなところでどのようにして起こるか考える。 ・地震によって生じた現象と被害には、どのような関係があるか考える。
		第3章 地層から読みとる大地の変化	・れき、砂、泥は、どのようにして、地層をつくるか調べる。 ・それぞれの堆積岩にはどのような特徴があるか調べる。 ・観察3 堆積岩のつくり ・地層や化石から、どのようなことがわかるか考える。
3			・海底でできた地層が見られる山脈や山地は、どのようにしてつくられたか考える。 ・地層から大地の歴史を読みとるには、どのようなことを調べてまとめればよいか考える。 ・観察4 身近な地層で読みとる大地の歴史

第1学年 音楽科 年間指導計画

【評価方法】			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	実技試験 授業内ワークシート ペーパーテスト	実技試験 授業内ワークシート ペーパーテスト 鑑賞文などの授業内ワークシート	ペーパーテストの合計 実技試験の合計 振り返りシート 授業内の提出物、活動の態度 作品

【年間指導計画】		
月	単元名（題材名）	学習内容
4	○校歌を覚えよう 「校歌」	・校歌の音取りを行う。 ・校歌の音楽的特徴や歌う意味についてグループで考え、校歌に親しむ態度を養う。
	○正しい発声で明るく歌おう 「We'll find the way」	・正しい発声の仕方や呼吸の方法について学ぶ。 ・We'll find the way の音取りを行い、2つのパートに分かれて歌わせる。 ・2部合唱について理解し、歌うことの楽しさについて理解させる。
5	○曲想の変化を感じ取ろう 「春」	・「春」第一楽章を聴いて、ソネットがどの部分を表しているかについて考える。 ・作曲者、ソネット、リトルネッロ形式について学ぶ。 ・ソネットと音色の関わりについて聴き取る。 ・ヴィヴァルディの四季を聴き比べ、自分が好きな曲について言葉にして書く。
	○混声合唱の特徴を生かして歌おう 「朝の風に」	・男声と女声に分かれて音取りを行う。 ・混声合唱や変声期について学ぶ。 ・混声合唱の特徴を生かして、曲に合った声で歌う。
6	○伴奏や旋律の関わりを意識して歌おう 「浜辺の歌」	・浜辺の歌の音取りを行う。 ・作詞作曲者や、歌詞の意味、表現記号について学ぶ。 ・伴奏や旋律と歌詞の関わりについて知覚し、どのように歌うと良いか工夫について考える。 ・8分の6拍子について触れ、表現の工夫を生かして歌う。
6	○合唱コンクールの選曲、練習 自由曲 全体合唱	・合唱コンクールで歌う自由曲を聴き比べて選曲を行う。
7		・パート練習の方法について確認し、パートごとに音取りを行う。正確な音程、リズムで歌う。
8		・パート練習の最後に振り返りを行い、毎回記録をする。また、授業の始めにパートで話し合いを行い、目標立てを行う。
9		・パートの役割について理解し、強弱や表現の仕方など歌い方を工夫する。 ・他のパートを意識して、ハーモニーの重なり合いを意識して合唱する。
10		
11	○情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう 「赤とんぼ」	・赤とんぼの音取りを行う。 ・作詞作曲者や曲の歌詞の意味、曲の背景について学ぶ。 ・作曲者の思いや情景を踏まえながら、どのように歌うかについて考え、実践する。
	○和太鼓の響きを味わおう 「江南屋台囃子」	・和太鼓の構造や奏法について理解をする。 ・口唱歌について学び、奏法を守りながらリズムの練習を行う。 ・秩父屋台囃子の鑑賞をし、音楽のリズムや楽器の音色、特徴を聞き取る。 ・グループで江南屋台囃子を練習し、良い音で叩く工夫や表現の方法について考えさせる。 ・グループで発表を行う。
12	○詩の内容と曲想との関りを感じ取ろう 「魔王」	・魔王を聴き、ドイツリートについて理解する。 ・作曲者について理解を深める。 ・歌詞を朗読し、内容を理解させる。 ・歌詞と声色やピアノ伴奏の関わりについて聴き取らせる。 ・習った内容を生かし、紹介文を書く。
1	○アジア諸民族の音楽について知ろう	・アジア諸民族の音楽について鑑賞を行い、日本とアジアの音楽の共通点や相違点を感じ取る。 ・自分が調べたいアジアの国を一つ取り上げ、その国の伝統音楽についてタブレットや本を利用して調べ、まとめる。
2	○曲を作ろう	・音符の長さについて理解をする。 ・言葉とリズムの関わりについて意識させ、言葉を使った短いリズムを作る。 ・言葉のアクセントと音の高さの関係を意識させ、短い旋律を作る。 ・グループでテーマを決め、テーマに合った曲を作って表現する。
3	○式歌（卒業式、入学式） 「校歌」 「わが街足立」 「卒業生を送る歌」など その他	・式歌のパートを決めて、パートごとに音取りを行う。区歌はピアノ伴奏で音取りを行う。 ・歌詞から情景を思い浮かべ、曲に合った表現方法を工夫する。

第1学年 美術科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査 作品 ワークシート アイディアスケッチ、下絵	定期考査 作品 ワークシート 作品説明プリント 鑑賞ノート アイディアスケッチ、下絵	授業態度、（作品、ワークシート（作品説明プリント） 鑑賞ノート、アイディアスケッチ、下絵）、作品……作 品を制作する過程において、学習をすすめる中で、身 の回りのものに興味関心を持ち、何を表現したいの か、どんな技法を使用するかを自身で決定し、すすめ られるか 提出物、授業準備、発表内容、掃除片づけ、など

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	「美術」とは何だろう	・中学校の美術の 学習と社会との関連性や、美術の 学習活動の目的や意味を考え、美術の学習に意欲的に取 り組めるよう にする。
5	知識・基礎「造形基礎」デッサン	・基礎デッサン
6	知識・基礎「造形基礎」フロッタージュ 知識・基礎「造形基礎」色彩学 知識・基礎「コンセプトデザイン」（キャリアデザ イン）	・「テクスチュア」触覚と視覚の関係を学ぶ。 ・色相環と補色 ・企業デザインの世界、コンセプトデザインを学ぶ ・社会の諸問題について考えることは、これに参画している一員として自覚を促す。 ・人に訴えかけるメッセージを作品に託すことで自らの意見を他者に表明、表現させる。またお互いの作品を鑑 賞しながら自分の言動が他者の与える影響について理解することや、双方の個性を尊重させる。
	鑑賞・知識「鑑賞プリント」	・美術とエンタテイメント、身近にあるアートについて鑑賞共有することができる。
7	～デザイン～ 「ロゴデザイン」	・伝達機能としてのデザインの役割を知り、テーマを図案化する。
8	「シンボルマーク」	・企業コンセプトデザインをもとに、会社のイメージを視覚化することを学ぶ。
9	～絵画・鑑賞～ アクションペインティング	・抽象的な造形表現を体験し、多くのアーティストの作品が鑑賞できるようになる。
10	～工芸・彫刻～	
11	レリーフ表現	・金属加工実習。 ・金属加工に合わせたデザイン表現の選択。 ・彫刻表現の一つレリーフを学ぶ。
12	～絵画・鑑賞～ 抽象表現	・パステルを使い抽象的な心象表現を実践する。 ・制作を通して多くのアーティストの作品を鑑賞できるようになる。
1	知識・基礎「造形基礎」遠近法に気づく	・物語の絵を描く。 ・文章を通して、画面にイメージの世界を書き起こす課題を通して、遠近法表現に挑戦する。
2		
3	知識・基礎「造形基礎」色彩学	・日本の色彩と西洋の色彩の特色について話し合うことができる。
	～鑑賞～「仲間の作品の相互評価」	・自分の作品について、仲間の作品のよいところを見つけ、鑑賞ノートを作成。

第 1 学年 技術科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業観察、ワークシート、課題製作品 定期考査、確認テスト、レポート 実技テスト	授業観察、ワークシート、定期考査 課題製作品、レポート、発表	授業観察（課題解決に主体的に取り組み、改善・工夫し、実践しようとしている態度） レポート、発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学 習 内 容
4	技術分野ガイダンス	・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイディアを調べ、発表する。 ・技術の発達による生活や産業の変化を調べる。 ・身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。 ・PDCAサイクル沿って問題解決を行うことを確認するとともに、社会における問題解決も同様の流れであることを知る。 ・3年間の学習内容を確認し、技術分野の学習を生かして生活に関連づけていく意識を持たせる。
	1-1 材料と加工の技術の原理・法則の仕組み ①身の回りの材料と加工の技術	・身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているかを考える。 ・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べる。
5	②木材、金属、プラスチックの特性	・木材、金属、プラスチックの特性について調べる。 ・木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる。
	③材料に適した加工法	・工具や機器を加工の特性や方法に応じて分類する。 ・材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 ・工具や機器を安全に使用方法や技術室での安全な作業をするための決まりを知る。
	④丈夫な製品を作るために	・製品を丈夫にするための材料と加工の技術の工夫について調べる。 ・部材の組み合わせや接合方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。
	⑤材料と加工の技術の工夫を読み取ろう	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・身近な製品の問題解決の工夫などから「技術の見方・考え方」についてまとめる。
6 ～ 7	1-2 材料と加工の技術による問題解決 ①問題を発見し課題を設定しよう ②製作品を構想し、設計しよう ③製作の計画を立てよう	・身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する ・課題を解決するために、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する。 ・機能の検討、材料の検討、構造の検討、加工方法の検討をする。 ・製作品の製作に必要な図を作成する。 ・製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成し、製作に必要な材料を準備する。 ・製作工程表を作成する。 ・工程ごとに使用する工具や機器を調べる。
9 ～ 12	④作業手順を考えて製作しよう	・切り代や削り代を見込んで、仕上り寸法線と切断線をけがく。 ・材料の切断線にしたがって切断する。 ・仕上り寸法線にしたがって加工する。 ・加工後、検査、修正し、仮組み立てをする。 ・仮組み立て後、組み立てをする。組み立て後、検査・修正する ・素材や用途に合った表面処理をする。

月	単元名（題材名）	学 習 内 容
1 ～ 2	⑤問題解決の評価、改善、修正	・材料の加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善 ・修正する方法について考える。
	1-3 社会の発展と材料と加工の技術	
	①材料と加工の技術の最適化	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 ・社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性について比較する。
	②これからの材料と加工の技術	・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える。
2 ～ 3	4-2 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	
	①双方向のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう	・双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べる。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。
	②問題を発見し、課題を設定しよう	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。
	③コンテンツを構想しよう	・問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。 （構想の具体化、情報処理の手順の整理、必要な機能の整理）
	④コンテンツのプログラムを制作しよう	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・使用する人のことを考えてプログラムを制作する。
	⑤問題解決の評価、改善、修正	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。

第 1 学年 家庭科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業観察 定期考査・小テスト 提出物 作品 実技テスト	授業観察 提出物 作品 レポート 発表	授業観察 提出物 ノート レポート 発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	家庭分野のガイダンス	・自分の成長を振り返り，自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられていることに気づく。 ・これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習内容を振り返る。 ・中学校での学習内容に興味を持ち，３学年間の学習の見通しを持つ。 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。
5	1 編 1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ① どうして食事をするのだろう ② 私たちの食生活 ③ 栄養素ってなんだろう ④ 中学生に必要な栄養	・食事の役割についてまとめる。 ・食生活を点検し課題を見つけ、健康に良い食習慣について考える。 ・栄養素の種類と働きや体内での水の働きをまとめる。 ・中学生に必要な栄養の特徴について考える。
6	1 編 2 章 中学生に必要な栄養を満たす食事 ① 食品に含まれる栄養素 ② 何をどのくらい食べればよいか ③ バランスの良い献立作り	・食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べ、可食部 1 0 0 g と 1 回に食べやすい量に含まれるカルシウムの量の違いを把握する。 ・身近な食品を栄養的な特徴により 6 つの食品群に分類し、食品群別摂取量の目安と 1 日に必要な食品の種類と概量を知る。 ・中学生に必要な栄養を満たす 1 日分の献立を考える。
7	・生活を豊かにするためのものづくり	
9	1 編 3 章 調理のための食品の選択と購入 ① 食品の選択と購入 ② 生鮮食品の特徴 ③ 加工食品の特徴 ④ 食品の保存と食中毒	・食品を選択する観点について知り、食品の表示について調べまとめ、用途に応じた食品の選択について考える。 ・生鮮食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。 ・加工食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。 ・食品のさまざまな保存方法を知り、食中毒の防止について考える。
1 0	1 編 4 章 日常食の調理と地域の食文化 ① 日常食の調理	・献立を決め，食品の調理上の性質を生かした調理の要点をまとめる。 ・調理に必要な手順や時間を考え，調理計画を工夫する。 ・調理実習の準備をする。 ・安全と衛生に気をつけて調理をする。 ・試食をする。 ・後かたづけをする。 ・調理実習の反省をし，評価をする。
1 1		
1 2	② 野菜・いもの調理 ③ 肉の調理 ④ 魚の調理 ⑤ 日本の食文化と和食の調理 ⑥ 持続可能な食生活を目指して	・野菜・いもの調理上の性質を知り、安全と衛生に気をつけて野菜・いもの調理をする。 ・肉の調理上の性質を知り、安全と衛生に気をつけて肉の調理をする。 ・魚の調理上の性質を知り、安全と衛生に気をつけて魚の調理をする。 ・地域の食材や季節の食材、地域の食文化について調べる。 ・地域の食材を用いた和食の調理をする。 ・食生活を取り巻く問題を把握し，持続可能な食生活のためにできることを考える。
1		
2		
3	生活の課題と実践	・学習してきたことを生かし，改善する点や課題はないか，自分や家族の食生活を見直す。 ・課題を解決したり，より豊かな生活にしたりするための工夫を考え，計画を立て実践する。 ・立てた計画をグループで発表し合い，計画を見直す。 ・各自で実践したことをまとめ，発表し合う。

第 1 学年 保健体育科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	学習カード スモールステップテスト 定期考査 授業観察 実技テスト 発表会	学習カード 定期考査 スモールステップテスト 授業観察	学習カード 定期考査 スモールステップテスト 授業観察

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 集団行動 体力を高める運動
	陸上競技	短距離走、リレー
5	ダンス	ソーラン節
6	陸上競技	走り幅跳び
	体づくり運動	体力を高める運動
7	体づくり運動 水泳	体力テスト クロール、平泳ぎ、背泳ぎ
9	水泳	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ
	器械運動	マット運動、鉄棒運動
1 0	球技（ネット型）	バレーボール
1 1	陸上競技	長距離走
1 2	武道	柔道
1、2	球技（ベースボール型）	ソフトボール
	体育理論	運動やスポーツの多様性
2、3	球技（ゴール型）	サッカー
通年	保健	健康な生活と疾病の予防(1)、心身の機能の発達と心の健康

第 1 学年 英語科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	・ペーパーテスト (スモールステップテスト、定期考査、小テスト等) ・パフォーマンステスト (音読、ALT との会話テスト、プレゼン等) ・単元リテリング、スキット	・ペーパーテスト (スモールステップテスト、定期考査、小テスト等) ・パフォーマンステスト (音読、ALT との会話テスト、プレゼン等) ・授業内の活動 (ペア活動、スキット等)	・ノート ・ペーパーテスト (スモールステップテスト、定期考査、小テスト等) ・パフォーマンステスト (音読、ALT との会話テスト、プレゼン等) ・振り返りシート ・授業内の活動

【年間指導計画】

月	単元名 (題材名)	学習内容・目標
4	Let's Be Friends!	・気持ちを表す言葉、色、国名、数、日付、アルファベットや基本的な単語などを話したり書いたりする。
	Unit 1 Here We Go!	・会話から、その人の情報を聞き取ったり、自己紹介カードに自分の情報を書いたりすることができる。 ・I'm～. I (don't) like～. I can/ can't～.の文の使い方を理解し、適切に使用する。
5	Daily Life 1 国際郵便	・海外あてお送り状に、宛名や住所を書くことができる。
	Unit 2 Club Activities	・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ったり、たずね合ったりすることができる。 ・Are you～? Do you～? Can you～? の文の使い方を理解し、適切に使用する。
6	Unit 3 Enjoy the Summer	・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。・夏休みにしたいことについて、アンケートをとることができる。 ・What do you～? 動詞の ing 形 want to～の表現について理解し、適切に使用する。
7	World Tour 1 世界の中学生	・世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知ることができる。 ・How many～? How do you～?の使い方を理解し、適切に使用する。
	Active Grammar 1 am, are/ 一般動詞/ can	・自分と相手のことを伝える言い方を理解することができる。 ・am, are (be 動詞), be 動詞以外の動詞 (一般動詞), can (助動詞)
	You Can Do It! 1 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	6 人の中学生のプロフィールを読んで、出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどの情報を正確に読んだり、話したりすることができる。
9	Unit 4 Our New Friend	・人物紹介から、基本的な情報を聞き取ったり、身近な人などについて紹介したりすることができる。 ・3 人称単数を主語とする be 動詞の文、Who's～?の表現について理解し、適切に使用する。
10	Unit 5 This Is Our School	・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。 ・Where～? When～? 命令文などの使い方を理解し、適切に使用する。
	Daily Life 2 落とし物	・落とし物の持ち主を探すやり取りができる。 ・Whose～?の疑問文や「～のもの」の使い方を理解し、適切に使用する。
	Active Grammar 2 代名詞	・代名詞の使い方を理解することができる。
11	Unit 6 Cheer Up, Tina	・紹介分から、その人物が誰かを読み取ったり、身近な人の情報を伝えたり、紹介文を書いたりすることができる。 ・3 人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文、疑問文、否定文の使い方を理解し、適切に使用する。
	Active Grammar 3 is/ 3 人単数現在形	・自分と相手以外のことを伝える言い方を理解することができる。
	Daily Life 3 カフェ	・飲食店で、注文をするやり取りができる。 ・Can I～? Which～or～? How much～? の使い方を理解し、適切に使用する。
12	World Tour 2 世界の時刻	・日本と世界の時差について知ることができる。 ・What time is it?
	Active Grammar 4 疑問詞	・疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解することができる。 【復習】what, who, whose, which, where, when, why, how
	Let's Read 1 What Am I?	・説明文から”I”につちえの情報を読み取ることができる。
	You Can Do It! 2 「ドリームファミリー」を紹介しよう	・「ドリームファミリー」の紹介から、家族の情報を聞き取ることができる。 ・グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。
1	Unit 7 New Year Holidays in Japan	・はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・冬休みの出来事や感想などを伝えたり、はがきを書いたりすることができる。 ・一般動詞の過去形の肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形の使い方を理解し、適切に使用する。
2	Active Grammar 5 動詞の過去形	・一般動詞と be 動詞の過去形の使い方を理解し、適切に使用する。 【復習】一般動詞の過去形、be 動詞の過去形
	Daily Life 4 ウェブサイト	・ウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。
	Unit 8 Getting Ready for the Party	・写真の説明から、その場の状況を聞き取ったり、写真に状況を説明するキャプションを書いたりできる。 ・現在進行形の肯定文、疑問文、look+形容詞の使い方を理解し、適切に使用する。
	Active Grammar 6 現在進行形	・現在進行形について理解することができる。【復習】現在進行形
	Daily Life 5 ラジオの中継	・ラジオの中継から、現地の様子を聞き取ることができる。
3	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	・物語から、あらすじを読み取ることができる。
	You Can Do It! 3 学校行事の紹介ページを作ろう	・学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 ・グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。
	Let's Read More My Japanese Lessons	・レポートから、筆者の体験に基づく感想などを読み取ることができる。
随時	ALT とのパフォーマンステスト	・授業で学んだ単語、文法や表現を活用して、ALT とコミュニケーションをとる。